



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 株式会社ホットリンク

上場取引所

東

コード番号 3680

URL <https://www.hottolink.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 檜野 安弘

問合せ先責任者（役職名） 執行役員 CFO（氏名） 福島 淳二（TEL）03-6261-6930

半期報告書提出予定日 2025年8月8日 配当支払開始予定日 2025年9月19日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家及び証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間増減率）

	売上高		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に 帰属する中間利益		中間包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	1,728	△24.6	△118	—	△246	—	△229	—	△229	—	△453	—
2024年12月期中間期	2,291	2.9	39	△56.2	323	67.4	218	47.3	218	47.3	600	110.2
	基本的1株当たり 中間利益				希薄化後1株当たり 中間利益							
	円 銭				円 銭							
2025年12月期中間期	△14.63				—							
2024年12月期中間期	13.93				—							

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	7,175	5,403	5,403	75.3
2024年12月期	7,871	5,856	5,856	74.4

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	3.00			
2025年12月期（予想）			—	3.00	6.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	4,116	△3.5	41	—	67	—	27	—	27	1.73

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 一 、除外 一社 (社名) 一
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期中間期	15,965,800株	2024年12月期	15,965,800株
② 期末自己株式数	2025年12月期中間期	280,215株	2024年12月期	280,215株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年12月期中間期	15,685,585株	2024年12月期中間期	15,685,585株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約中間連結財政状態計算書	5
(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書	6
(3) 要約中間連結持分変動計算書	8
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(配当金)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間においては、地政学リスクに加え、米国のインフレ懸念等を背景とした世界経済の先行きに不透明さが増すなか、当社では国内外の異なる事業にそれぞれ注力するポートフォリオ経営を実践することで外部環境の影響を受けにくい事業構築を目指してまいりました。

ソーシャルメディアマーケティング支援事業においては、SNSマーケティング市場の成長を背景に、企業の多様なニーズに応えるための進化を続けております。当社の強みであるSNS上のビッグデータの収集・分析・活用を基盤とし、運用代行、広告配信、インフルエンサーマーケティングなどをワンストップで提供しております。さらに、AIを活用したデータ解析の高度化や新たなツールの導入により、顧客企業との価値共創を深めております。

Web3市場における成長が期待されるなか、当社ではブロックチェーン技術の活用を進め、関連企業やプロジェクトへの投資を通じて知見を蓄積してまいりました。現在、既存事業であるソーシャルメディアマーケティング支援事業で培ったノウハウと、Web3市場での経験を組み合わせることで、Web2とWeb3の融合を目指した新たな取り組みを展開しております。今後もグローバルネットワークの構築を通じて、自社事業間のシナジー創出を進めてまいります。

当中間連結会計期間のセグメント毎の経営成績は次のとおりです。

(ソーシャルメディアマーケティング支援事業)

「ソーシャルメディアマーケティング支援事業」は、SNSマーケティング支援事業とDaaS事業の2つの事業区分により構成されております。

a. SNSマーケティング支援事業

当事業は、主に日本国内向けのSNSマーケティング支援から成り立っており、その主なサービスは、SNS広告・SNS運用コンサルティングと、SNS分析ツールがあります。これらのサービスは、当社が保有する膨大なデータと、長年に亘り蓄積してきたSNS分析・運用ノウハウを用いるだけでなく、分析から施策立案、効果測定までを一気通貫・ワンストップでサポートするなど、競争優位性が高いものになっております。

当事業の売上高は1,068百万円（前年同期比3.6%減）となりました。SNS広告・SNS運用コンサルティングにおいては、新たなSNS運用の手法や顧客のすそ野の拡大もあり、業績は堅調に推移しております。今後のリスクとしては、経済環境の不安定さや顧客企業の販管費抑制、SNS運営企業の方針変更など、当該市場を取り巻く環境変化への注視が必要です。

当社では、柔軟に対応できる組織体制の構築に加え、積極的な人材採用・育成やAI等のテクノロジーを活用した業務効率化を通じて、生産性の向上を図っております。さらに、サービスラインアップの拡充と、顧客ごとの課題に即した戦略的なSNS活用提案を強化することで、業界および顧客ニーズの変化を成長機会と捉え、当事業の運営を進めております。

b. DaaS事業

当事業は、当社の米国子会社であるEffyis, Inc. の主にSNSデータアクセス権の販売から構成されております。

当事業の売上高は658百万円（前年同期比44.3%減）となりました。2024年度に発生した一部データ提供元との契約終了に加え、2025年度に入り、北米市場におけるマクロ環境の変動等の影響を受けて、取引先による契約の見直しが生じ、当中間連結会計期間も前年同期比で売上が減少しました。

しかしながら、当社では特定領域に特化した新規データ商品の整備や、構造化・分析済みデータの提供体制の強化、新たなデータ流通チャネルの開拓を進めており、再現性の高いビジネスモデルへの転換を図っています。また、新規顧客の獲得も継続しており、中長期的な再成長に向けた基盤構築が着実に進展しています。

これらの取り組みにより、現時点で当社全体の事業運営に深刻な影響は生じておらず、2025年度内での回復を見据えた施策を推進してまいります。

当中間連結会計期間では当社の米国子会社であるEffyis, Inc. は引き続き、世界中のソーシャル・ビッグデータを保有するメディアとの間で良好な関係維持に取り組み、安定したデータ提供や新規メディアからのデータアクセス権の契約を獲得しているほか、生成AIやデジタルセキュリティ関連をはじめとする新市場に対する新サービスの提供へも注力してまいります。

(Web3関連事業)

当事業は、Web3関連への投資を行うものであり、Nonagon Capitalを通じてWeb3分野への投資・運用がその主なものです。Nonagon Capitalは、投資収益・投資事業収益の獲得だけでなく、グループ全体における新事業創出のための知見を深めることも目的としております。

当事業の売上高は2百万円(前年同期比176.5%増)となりました。これは前連結会計年度より、「Nonagon Report / Nonagon Connect」のサービス提供を開始したことによるものです。Nonagon Connectは、エンタープライズ向けにWeb3に関するレポート提供、横の繋がりや海外とのネットワークを提供するコミュニティ事業です。なお、Web3関連市場のボラティリティが高まる中で、長期的な視点を持った投資を分散して行うことによりポートフォリオの安定と事業成長の両立の実現へ全力を尽くしてまいります。

セグメント別売上高

セグメント名	サービスの名称	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	
		売上高(千円)	前年同期比(%)
ソーシャルメディア マーケティング 支援事業	SNS分析ツール	159	0.1
	SNS広告・SNS運用コンサルティング	1,067,971	115.6
	SNSマーケティング支援事業	1,068,130	96.4
	DaaS事業	658,211	55.7
	小計	1,726,342	75.4
Web3関連事業		2,065	276.5
合計		1,728,407	75.4

以上の結果、当中間連結会計期間においては、売上高1,728百万円(前年同期比24.6%減)、売上総利益は571百万円(前年同期比16.8%減)となりました。販売費及び一般管理費は691百万円(前年同期比2.1%増)、営業損失118百万円(前年同期は営業利益39百万円)となりました。

金融費用は144百万円(前年同期は5百万円)となり、税引前中間損失246百万円(前年同期は税引前中間利益323百万円)、中間損失229百万円(前年同期は中間利益218百万円)となりました。EBITDA(営業利益+減価償却費及び償却費)は97百万円(前年同期比61.3%減)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

財政状態の分析

(流動資産)

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は、3,469百万円となり、前連結会計年度末に比べて437百万円減少いたしました。この主な要因は、現金及び現金同等物が329百万円減少したこと、売掛金の減少などにより営業債権及びその他の債権が116百万円減少したことによるものであります。

(非流動資産)

当中間連結会計期間末における非流動資産の残高は、3,706百万円となり、前連結会計年度末に比べて258百万円減少いたしました。この主な要因は、その他の金融資産が109百万円減少したこと、為替変動によりのれんが77百万円減少したこと、ソフトウェアの減少などによりその他の無形資産が43百万円減少したこと、使用権資産が26百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は、735百万円となり、前連結会計年度末に比べて110百万円減少いたしました。この主な要因は、営業債務及びその他の債務が74百万円減少したこと、未払消費税等の減少などによりその他の流動負債が27百万円減少したことによるものであります。

(非流動負債)

当中間連結会計期間末における非流動負債の残高は、1,036百万円となり、前連結会計年度末に比べて132百万円減少いたしました。この主な要因は、借入金が74百万円減少したこと、繰延税金負債が32百万円減少したこと、リース負債が25百万円減少したことによるものであります。

(資本合計)

当中間連結会計期間末における資本合計の残高は、5,403百万円となり、前連結会計年度末に比べて453百万円減少いたしました。この主な要因は、利益剰余金が229百万円減少したこと、海外子会社の財務諸表の為替換算調整などによりその他の資本の構成要素が223百万円減少したことによるものであります。

キャッシュ・フローの分析

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて329百万円減少し2,971百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は、106百万円(前年同期は261百万円の増加)となりました。この主な要因は、税引前中間損失246百万円に始まり、営業債務及びその他の債務の減少57百万円、その他の流動負債の減少32百万円、その他の流動資産の増加19百万円により資金が減少した一方、減価償却費及び償却費215百万円、金融費用143百万円、営業債権及びその他の債権の減少109百万円により、資金が増加したことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、223百万円(前年同期は186百万円の減少)となりました。この主な要因は、無形資産の取得による支出214百万円によるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、99百万円(前年同期は95百万円の減少)となりました。この主な要因は、長期借入金の返済による支出74百万円、リース負債の返済による支出24百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の連結業績予想につきましては、2025年2月13日に公表した数値から変更はありません。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	3,301,684	2,971,977
営業債権及びその他の債権	494,724	378,229
未収法人所得税	29,880	22,735
その他の流動資産	80,196	96,137
流動資産合計	3,906,485	3,469,080
非流動資産		
有形固定資産	24,299	22,554
のれん	1,142,336	1,065,069
使用権資産	335,070	308,328
その他の無形資産	834,239	790,963
その他の金融資産	1,628,983	1,519,432
非流動資産合計	3,964,928	3,706,347
資産合計	7,871,414	7,175,428
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	147,132	147,132
営業債務及びその他の債務	425,416	350,963
リース負債	49,143	49,194
未払法人所得税	9,146	1,274
その他の流動負債	214,880	187,085
流動負債合計	845,718	735,649
非流動負債		
借入金	492,502	417,745
リース負債	289,477	264,353
繰延税金負債	375,857	342,907
その他の非流動負債	11,746	11,762
非流動負債合計	1,169,583	1,036,769
負債合計	2,015,302	1,772,419
資本		
資本金	2,438,859	100,000
資本剰余金	2,963,469	5,302,328
利益剰余金	260,643	31,154
自己株式	△140,216	△140,216
その他の資本の構成要素	333,356	109,742
親会社の所有者に帰属する持分合計	5,856,111	5,403,009
資本合計	5,856,111	5,403,009
負債及び資本合計	7,871,414	7,175,428

(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書

(要約中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	2,291,111	1,728,407
売上原価	△1,603,488	△1,156,498
売上総利益	687,623	571,909
販売費及び一般管理費	△676,871	△691,064
その他の収益	28,511	3,266
その他の費用	△0	△2,175
営業利益(△損失)	39,263	△118,063
金融収益	289,337	15,819
金融費用	△5,504	△144,150
税引前中間利益(△損失)	323,096	△246,395
法人所得税	△104,527	16,906
中間利益(△損失)	218,569	△229,488
中間利益(△損失)の帰属		
親会社の所有者	218,569	△229,488
中間利益(△損失)	218,569	△229,488
1株当たり中間利益(円)		
基本的1株当たり中間利益(△損失)	13.93	△14.63

(要約中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間利益(△損失)	218,569	△229,488
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	9,460	1,340
純損益に振り替えられることのない項目合計	9,460	1,340
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	372,884	△224,954
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	372,884	△224,954
その他の包括利益合計	382,344	△223,614
中間包括利益	600,913	△453,102
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	600,913	△453,102
中間包括利益	600,913	△453,102

(3) 要約中間連結持分変動計算書

(単位：千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の所有者 に帰属する 持分合計	資本合計
2024年1月1日残高	2,438,859	2,963,469	804,429	△140,216	70,852	6,137,394	6,137,394
中間利益	—	—	218,569	—	—	218,569	218,569
その他の包括利益	—	—	—	—	382,344	382,344	382,344
中間包括利益	—	—	218,569	—	382,344	600,913	600,913
その他の資本の構成要素から利益 剰余金への振替	—	—	20,840	—	△20,840	—	—
所有者との取引額合計	—	—	20,840	—	△20,840	—	—
2024年6月30日残高	<u>2,438,859</u>	<u>2,963,469</u>	<u>1,043,839</u>	<u>△140,216</u>	<u>432,356</u>	<u>6,738,307</u>	<u>6,738,307</u>
2025年1月1日残高	2,438,859	2,963,469	260,643	△140,216	333,356	5,856,111	5,856,111
中間損失	—	—	△229,488	—	—	△229,488	△229,488
その他の包括利益	—	—	—	—	△223,614	△223,614	△223,614
中間包括利益	—	—	△229,488	—	△223,614	△453,102	△453,102
減資	△2,338,859	2,338,859	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	△2,338,859	2,338,859	—	—	—	—	—
2025年6月30日残高	<u>100,000</u>	<u>5,302,328</u>	<u>31,154</u>	<u>△140,216</u>	<u>109,742</u>	<u>5,403,009</u>	<u>5,403,009</u>

(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益又は税引前中間損失(△)	323,096	△246,395
減価償却費及び償却費	213,462	215,793
暗号資産売却益	△7,431	△2,470
暗号資産評価損益(△は益)	△20,274	2,136
金融収益	△288,154	△15,819
金融費用	5,504	143,263
固定資産除売却損益(△は益)	—	△35
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	221,984	109,142
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△87,013	△57,425
その他の流動資産の増減(△は増加)	△10,200	△19,306
その他の流動負債の増減(△は減少)	△8,271	△32,224
その他	△1,646	45
小計	341,055	96,705
利息の受取額	15,717	15,039
利息の支払額	△5,488	△4,323
法人所得税の支払額	△90,769	△753
法人所得税の還付額	708	34
営業活動によるキャッシュ・フロー	261,223	106,703
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形資産の取得による支出	△185,279	△214,804
投資有価証券の取得による支出	△38,090	△11,130
投資有価証券の売却による収入	39,208	—
事業譲受による支出	△5,000	△7,000
出資金の払戻による収入	—	7,260
長期貸付の回収による収入	2,000	2,000
その他	259	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△186,901	△223,673
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△59,035	△74,757
リース負債の返済による支出	△36,498	△24,420
財務活動によるキャッシュ・フロー	△95,533	△99,177
現金及び現金同等物に係る換算差額	159,515	△113,558
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	138,303	△329,706
現金及び現金同等物の期首残高	3,495,505	3,301,684
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,633,808	2,971,977

(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月1日を効力発生日として、資本金2,338,859千円及び資本準備金2,145,188千円を減少し、これらをその他資本剰余金に振り替えております。本件は、今後の資本政策上の機動性及び柔軟性を確保することを目的としており、純資産総額に影響を及ぼさず、株主の所有株式数や1株当たり純資産額に影響を与えるものではありません。

なお、減資後の資本金は100,000千円、資本準備金は25,000千円となります。

(配当金)

(1) 配当金支払額

前中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

該当事項はありません。

(2) 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間末後となるもの

前中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2025年8月8日 取締役会	普通株式	47,056	3.00	2025年6月30日	2025年9月19日